

地域計画

策定年月日	令和 6年 3月 29日
更新年月日	()
目標年度	令和14年
市町村名 (市町村コード)	米原市 (252140)
地域名 (地域内農業集落名)	宇賀野 (宇賀野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	62.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	62.3 ha
② 田の面積	62.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	0.8 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・大半の農地が集落営農法人と個別経営法人によって担われ、両法人は水稻+麦・大豆の作付け体系で経営を展開している。
 ・集落営農法人では高齢化が進行しつつあり、労働力の確保と新規従事者の技術習得が課題となっている。
 ・集落内の農地は大半がほ場整備されているものの、集落や県道の近くの農地はほ場整備がされておらず、大型機械で作業しにくい。また、ほ場整備がされてから30年以上が経過しており、用水路の経年劣化に対する維持管理が重要となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・集落内の個別経営法人と農事組合法人が、将来の中心経営体として期待されている。
 ・両法人とも土地利用型作物(水稻+麦・大豆)を大型機械体系により、今後も継続して栽培する。
 ・生産性を高めるため、水系別に水稻と麦・大豆をローテーションして作付けする。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・集落内の規模拡大志向の中心経営体に農地の集積を図る。			
・労働力は個別経営では雇用により、集落法人では原則として集落内から従事者を確保する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	92 %	将来の目標とする集積率	92 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・水系別にどちらかの担い手に農地の集約化を推進し、効率的な土地利用に努める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・規模縮小する農地は当集落の農用地利用改善組合を通じて農業法人への集約を図る。 ・基本的に、こうした農地に隣接する農業法人への集約を図るべく、委託者の合意に努める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農用地利用改善組合での検討を通じて、方向性が明確となった農地については農地中間管理機構を通じて貸借する。
(3)基盤整備事業への取組
・用水路の改善を図る必要性が年々大きくなっている。 ・農地耕作条件改善事業等を行い、農地の保全を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内で農業を継続希望する農業者が引き続き安定して営農継続できるよう、両法人と土地利用等での連携を図る。 ・将来、地域内で新規に営農を開始したい就農者については、継続して営農が展開できるよう、市、JA等と連携して取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
無し

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

・「法秀院の郷宇賀野環境保全会」を通じて、共同活動で農用地や用排水路、農道等の保全管理をしている。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻等	28.0 ha	— ha	水稻等	28.0 ha	— ha		
認農		水稻等	27.7 ha	— ha	水稻等	27.7 ha	— ha		
利用者		水稻等	0.5 ha	— ha	水稻等	0.5 ha	— ha		
認農		水稻等	1.2 ha	— ha	水稻等	1.2 ha	— ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		57.4 ha	ha		57.4 ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
	特になし		

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	—	うち計画同意者数(人・%)	—
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。